

上田市教育委員会 11月定例会会議録

1 日時

令和2年11月12日(木) 午後3時00分から午後3時58分まで

2 場所

上田駅前ビルパレオ5階 上田市教育委員会 第一会議室

3 出席者

委員

教育長	峯村 秀則
教育長職務代理者	北沢 秀雄
委員	横関 妙子
委員	綿谷 憲一
委員	森田 小百合

説明員

中澤教育次長、池田教育参事、山賀教育総務課長、翠川教育施設整備室長、緑川学校教育課長、竜野生涯学習・文化財課長、池田スポーツ推進課長、青木丸子地域教育事務所長、宮崎真田地域教育事務所長、樋口武石地域教育事務所長、小泉中央公民館長、深町丸子学校給食センター所長、小山西部公民館長、柳原上田情報ライブラリー館長、田中学校教育課学校教育担当係長

1 あいさつ

新型コロナウイルス感染症で大変な事態があった令和2年度だが、あとひと月と少いで終わる。この頃、第3波という言葉が聞かれるようになったが、何とか皆さんと一緒に力を合わせて感染対策をしながら、各所属の事業を進めていただきたいと思います。一日でも早く平穏な市民生活が戻るようにしていきたいというように考えている。

2 協議事項

(1) 教育支援プランについて(学校教育課)

資料別冊(3、3-1)により緑川学校教育課長説明(要旨)

先週の11月4日(水)に総合教育会議があり、教育委員の皆さんにもご説明させていただきました。その中でご意見をいただいております、本日は修正した部分について説明をさせていただきます。

まず、資料左側の基本目標の真ん中のところで、意見として「グローバル社会を生き抜く力」の文言が支援策と重複していること、ふるさとの下に「上田」という言葉を入れたらどうかというご意見をいただきました。修正案では、「グローバル社会を生き抜く力や、」を削除して、「ふるさと『上田』を愛する心」と修正させていただきます。次に、右側の「夢や希望を持って」の文言を削除したらどうかというご意見をいただきましたので、そのとおりに削除させていただきます、「未来を切り拓く力を養う」と修正をさせていただきます。

次に、基本施策の5番「ふるさとを愛し」の文言を入れたらどうかというご意見をいただきました。そのまま付けて修正してしまうと文が長くなるということで、2つに分けて整理をさせていただきます。「ふるさとを愛する心の育成」という言葉を入れさせていただきます。

次に、支援策の4番をご覧ください。グローバル社会というものは少し大きすぎるのではないかという意見をいただき、「国際社会を生き抜くコミュニケーション能力の育成」というような形で修正させていただきます。

5番については、プランの内容の部分を見ると、前のときの方がよいのではないかというご意見をいただきました。高校、大学との連携を考えると、もとに戻した方がよいということで、「幼保小中高大の連携推進」とさせていただきます。

9番については、こちらについても第2期の方がよりよいのではないかというご意見をいただきました。こちらについては、第2期が以前の体力づくりの推進で、そこへ健康づくりの推進も加えさせていただきます、「体力づくり・健康づくりの推進」とさせていただきます。

峯村教育長

前回のご意見をいただいて修正を行った。また、このあとにご意見をいただきたいが、例えば、2(4)について、「グローバル社会を生き抜く力の育成」に変えて、「国際社会を生き抜くコミュニケーション能力の育成」というように変えさせていただきます。教育委員会が行っている施策の中では、英語教育の1つの軸になっている。ALTを派遣することなど、具体的な施策に関わるものがあるので語学はコミュニケーションだと思う。いただいたご意見をベースに修正させていただきます。こちらの内容についてご意見をいただきたい。

森田委員

前回、コミュニケーション能力ということをお話させていただきました。具体的な支援策であるということがはっきり明確に分かるようなキーワードが入っていてよいと思う。

峯村教育長

先ほど申し上げたように、英語に特化して教育委員会は動いている。コミュニケーションと
いうところは確かに大事だと思う。

ほかにはいかがか。

横関委員

5番のところだが、幼保小中高大まで、先日の会議の中で高大が入ることはよろしくないとい
うことだったが。

峯村教育長

市教委は義務教育を預かっているのだから、連携と具体的にいえば、中学を卒業した子どもたち
が高校へ上がる段階までができる範囲である。ところが、高校大学との連携となると難しく、
高校は入学した段階で少し途切れてしまう。大学は、現在、各中学校が学習ボランティアを導
入しているのだから、連携といえばそれがあたるのかと思う。学園都市ということをも市長も謳っ
ている。私としては切れ目のない支援ということが義務教育を預かる教育委員会としての大事な
ところかと思うが、市長部局の思いや、実際に大学生が学校へ入っていることがあるので、北
沢委員のご意見のように元に戻した。

北沢委員

補足するが、私は高校も入っていてもよいと思う。連携ならば上田三中と上田染谷高で、英
語を中心とした連携の教育が行われてきた。幼保小中までは切れ目がないと思うが、高大とい
うと、すべての子どもたちが高校や大学へ進学するわけではないので、私は赤字で修正してい
ただいた方がよいと思う。

峯村教育長

おっしゃるとおりだと思う。

ほかにはいかがか。

よろしいか。

全員了承

峯村教育長

続いて、第3期上田市教育支援プラン（案）についてご意見をお願いしたい。

横関委員

今回、前回と違って、第一章の最後の4番に以前はあったが、計画の検証についての項目が
ないことについて教えていただきたい。

峯村教育長

何ページか。

横関委員

ページ数が記載されていないところで、開いてすぐのところである。

今までは、計画の検証で執行について点検および評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会へ提出するとともに公表するということがあった。

SDGsの3番の下のところ、前回では4番にあり、その中に計画の検証ということで毎回点検していたと思うが、そちらについていかがか。

緑川学校教育課長

前は入っていたが、検証は今までも、これからも毎年行っていく予定である。ただ、このプランの中にこのような文言を入れる必要はなく外しただけで特に他意はない。

横関委員

いろいろと検証をした結果の透明性というものは大事なことだと思う。検証していきますと謳うことも大事なことだと思うので文言を入れていただきたい。

峯村教育長

教育行政懇話会で評価していくという運びだが。

緑川学校教育課長

教育委員さんにも年度の終わりにどのようなことが行われて、どのようになったかということは説明させていただいて、ご意見を聞かせていただいている。我々が行っている重点目標というような部分があり、それを教育行政懇話会で意見をお聞きしているところである。それについては今後も継続して行いたいと考えている。ただ今のご意見をいただいた経過の検証を入れるかどうかも含め、どのような形で入れるか検討させていただきたい。

横関委員

了承。

峯村教育長

ほかにはいかがか。

横関委員

生活学習ノート「紡ぐ」の活用について特に資料には記載がないが、「10ページ」の主な施策の展開 学習習慣形成の推進ということで、「児童生徒が自ら計画を立て、授業と関連付けた家庭学習を行う」とあるが、「紡ぐ」の有効活用について等はこちらの方では言われてないが、そちらについてはどうなのか。

緑川学校教育課長

「紡ぐ」については、学校の先生方から行ってみてはどうかということで、3年を目途に使ってみてどういう状況であったか検証しようということで始まった事業である。今年度で3年目ということで、一旦区切りをつけて来年度以降については上田市として購入して配布するのは一旦これでやめようということで、もし、継続して使いたいという学校があれば学校の公費の中で使用していただきたいということで、一旦区切りをつけたいということでこの中から除かせていただいた。

峯村教育長

印刷の版は学校へお渡しするという事になっている。

横関委員

有効に使われていたかどうか。それなりの成果があったと思うが、やはり生徒まかせにせず、計画が立てられるなどよかったと思うが、できれば継続していただきたいと思う。

緑川学校教育課長

そのとおりだと思う。いろいろとアンケートをとる中でも、学校としても継続したいということもあった。だが、ふるさと基金の方からお金を入れていたので、基金はいつまでも続くことではないので、上田市内で統一するというのではなく、これからは今のものを使いながら、学校の状況に応じて切り替えていただければということで、その方が有効的だと考えている。

北沢委員

私は市教委の考え方でよろしいかと思う。3年間活用して1つの区切りということと、「紡ぐ」を使いたければ、今後も学校で自由に印刷ができるので、学校の実情に応じて使っていただければよい。私がよいと思うのは、10ページの「授業と関連付けた計画的な家庭学習の充実」で、この内容は評価できる。具体的にいうと、いくつかの学校で放課後の学活のときに、宿題に手を付ける、そういった時間を設けている。「紡ぐ」の弊害を一部には聞いているので、改善の方向を学校で考えていただければよいと思う。実のあることを行っていただけることがよい。

峯村教育長

パイロット授業の意味合いがあった。ルーズリーフのように1日、1日を別用で扱ったらどうかという考えもあった。このあたりで区切りかと思う。

横関委員

了承。

綿谷委員

測定指標の数値がいろいろとあるが、現状から5年先の目標数値はどのように算出したのか教えてほしい。

緑川学校教育課長

この指標項目がかなりあるので一律に言えない。一番は、国県の現状、もしくは目標値がある項目もあるが、そのところと上田市の現状を考えたときに、より上田市のところから近い目標値としているところが多くある。そのほか、2期でも同じ指標を使っているところがあるが、それについてはその目標に達しているか達していないかを加味しながら、現状よりも少し高いところに目標値を置いたというような形である。

綿谷委員

「未来を切り拓く力の育成」の中に、例えば、英語コミュニケーション能力、英語検定3級以上取得者の上田市の現状が24.8%で、5年後では30.0%。3級レベル者が46.3%

いればもう少し高くてもよいのではと思う。この46.3%は3級の検定レベルにいる者でよろしいか。

峯村教育長

この数値の設定は非常に迷うところで、あまり高く設定して到達するものが少なくても困る。しかし、あまり低くても優しい目標を立てたとする。

緑川学校教育課長

第2期のときに目標値を30%と立てたが、最終的実績が24.8%と目標に達しなかった状況がある。その中で国の目標と同じだが、30.0%と再度目指していきたいことで設定をさせていただいた。

綿谷委員

この3級レベル者46.3%が上田の現状というのは、これはそれだけの力を思っている人がいるということによろしいか。

緑川学校教育課長

レベル相当ということなので必ずしもいるとは限らないが、水準にある人は概ねいるということになる。

綿谷委員

少しでも可能性があれば目標は高い方がよいと思う。

森田委員

9ページ「ICTを活用した効果的な授業の推進」の主な施策の展開で、 しかない。このICTを活用等による確かな学力の育成の他にもう1つは、こちらを使った大きな目標の1つとして、6ページの基本施策1の「自ら考え課題を解決する力」がICTを使う大きな目的でもあると思う。自分の課題を見つけるために、情報収集をすること、それを表現するプレゼンテーション能力を培う、発信力培う等、そのような一連を自ら課題を解決し、課題解決したものを発信するという力がICTを活用するという大きな目標の1つでもあると思うので、としてそのような部分も掲載していただきたい。

緑川学校教育課長

今後のGIGAスクールを含めた中で検討をしていきたいと思う。

峯村教育長

ほかにはいかがか。

横関委員

今の意見に関連して、先日学校運営委員会に出席した際、保護者や地域の方も出席されている中でGIGAスクール構想という言葉だけが独り歩きをして、1人1台パソコンを用意してもらえるからパソコンができるようになる、情報の勉強をするといったような話があった。GIGAスクール構想がどういうものを上田市で明確なものを皆に分かりやすく示していくことが一番大事だと思う。

緑川学校教育課長

G I G Aスクールといっても、必ずしも浸透しているものではない。どこかに説明書きのようなものを入れさせていただきたいと思う。検討させていただきたい。

峯村教育長

タブレットが今年度中に用意できるが、令和3年度からいよいよ動き出すので、その前に市教委からこのような考え方で進めるということを広報に出すだとか、各学校から校長名と教育委員会の名前で出す方法もある。

横関委員

そのようにしていただけるとありがたい。

峯村教育長

ほかにはいかがか。

横関委員

20ページの特別支援教育の充実ということで、「障がいの有無を含め、人間として多様な在り方があるがままに認め合い支える共生社会を目指し」ということで、「インクルーシブ教育」と記さなかった意味を教えてください。

緑川学校教育課長

先ほどの協議会の中でもその話題が出たと思うが、「インクルーシブ教育」という言葉も全体的に浸透しているといいきれない部分もあり、こういった計画を含めて最近カタカナを含む英語表記が多いが、よりいろいろな人に見ていただきたく、分かりやすいということでこのような文言にさせていただいた。

横関委員

インクルーシブ教育に関してはメリット、デメリットが言われている。今回このような日本語の表現にさせていただきわかりやすく大変良いと思う。

もう1つよろしいか。22ページ 地域人材コーディネーターは現在1人だが、今後は地域人材コーディネーターを増やしていく方向なのか、多くは公民館が行っていると思うが。

竜野生涯学習・文化財課長

地域人材コーディネーターについては、各地域、各学校に公民館の社会教育指導員やあるいは地域の方がなっている場所もある。あるいは学校の教頭先生がなっている場合もある。それぞれの学校の実情に応じた学校の一番やりやすい、また、地域の取組をしやすい方がコーディネーターを担っていくことが一番望ましいことと考えている。今のところ、それぞれの学校ごとにいずれかの立場の方がコーディネーターという形で関わっているので、そのようなところを充実していくと考えている。

横関委員

例えば、三中のコーディネーターは地域の方で、無報酬で行っている。時間や労力もかかる仕事なので持続可能でなければいけないと思う。その方がいなければ困るというような体制はいかがかと思う。そのあたりのことをどのようにしていくかを検討させていただきたい。

竜野生涯学習・文化財課長

望ましい形としては、学校と地域が直接つながるという形が一番望ましいと思っている。学校でこういった方を教えていただける方は地域にいないでしょうかと地域の方に直接お話をし、地域で紹介していただく。そのときに公民館と行政のコーディネーターではなく、地域の方が直接そのような役割を行っていただく、先ほどおっしゃられた三中のような形が一番望ましいと思っている。お話があった経費の関係については今後検討させていただくとして、私どもとしてはそういった姿を目指したいと思っている。

北沢委員

測定指標の件だが、17ページが一番下の欄に「トップアスリートによる教室」等の実施回数は2校で5年後の目標は8校と4倍になっており、妥当だと感じる。23ページが一番下の欄の「信州上田学」出前講座、本年度は3校、5年後は20校以上と7倍である。あくまでも出前講座なので、各学校から要望があって出向くものである。20校という数字が現場への過度な負担にならないように考えていただきたい。

峯村教育長

北沢委員が前から気にしていらっしゃることで、座学では、子どもたちがただ話を聞いているだけではないかのご指摘を受けたことはとても大事だと思う。子どもが求めていき、壁にぶつかったときに講師にお出ましいいただくことが理想だと思う。その点に注意しながら運営していただきたい。

横関委員

23ページの 印について「地域に受け継がれた歴史、文化、産業等」になっているが、山本鼎先生がいらっしゃるので「文化」へ入るかもしれないが「芸術」も入れていただきたい。

峯村教育長

検討させていただきたい。

ほかにはいかがか。

よろしか。

たくさんご意見をいただいた。訂正すべきところは訂正する、検討させていただくところは十分に検討させていただきたい。

全員了承

(2) 社会教育委員の委嘱について(生涯学習・文化財課)

資料1により竜野生涯学習・文化財課長により説明(要旨)

11月31日で任期満了となる上田市社会教育委員の委嘱を行う。社会教育委員は、社会教育法の規定により、市に設置をしている委員である。市は条例において定数10名以内と定められている。今回の任期は、令和3年1月1日から令和4年12月31日までとなる。職務は社会教育委員法に定める職務で、社会教育に関する諸計画、教育委員会の諮問に対する意見、調査研究、青少年に関する事項を社会教育団体等へ助言や指導を行う。あるいは社会教育団体への補助金に関する意見をすることである。資料の名簿をご覧いただきたい。今回、定数は10名である。地域別では、上田地域6名、丸子地域2名、真田地域1名、武石地域1名となっている。また、男女の割合は女性6名、男性4名の構成、女性の登用率は60%となっ

ている。公募委員については、今回申し込みはなかったが、前回公募で申し込みをいただいた3番の清水さんを個人依頼に含めている。その結果、2期目の方が5名、1期目の方4名、4期目の方が1名となる。4期目の1番目の竹花さんについては、社会教育委員としての継続性を確保したいという意図でお願いしたいというように考えている。

次に、新規の方を中心に説明させていただく。資料の下から4番目の方からが新規となる。小平千文氏は、もともと県立高校の社会科の教諭であり、現在は上田小県近現代史研究会の会長を務められて、地域の社会教育の研究者である。次に、高田正哉氏は、現在、上田女子短期大学の専任講師である。青少年育成が専門である。宮下俊哉氏は真田の長谷寺のご住職の傍ら、真田の郷まちづくり推進協議会の会長などを務められ、また学校支援ボランティアなどもされている。山崎順子氏は、上田市の教育委員や県のPTA連合会の副会長などを歴任され、家庭教育の向上に資する講演の講師や現在は西部公民館の公民館運営審議会委員を務められている。今回は、特に社会教育に関する経験や知識のある方で、来年、上田自由大学101周年を迎えるわけだが、そういった近々の課題に直ちに対応いただける方を中心にお願いしたいと考えている。

峯村教育長

社会教育委員の委嘱についてよろしいか。

横関委員

審議にあたり、無職と記されるとどのように判断してよいか。例えば、1番の竹花のり子さんについて、新しく入られた森田委員はご存じないと思う。無職ではなく、どのような職業及び選出団体かを明記していただいた方がよろしいと思う。次回、差し支えなければそのようにしていただきたい。

竜野生涯学習・文化財課長

市の書式で無職とさせていただいた。竹花のりさんは現在、丸子中央小学校等の学校ボランティアなどを務められている。もともとは、丸子図書館の次長ということで図書館教育にも造詣の深い方である。無職の記載については協議させていただきたい。

峯村教育長

他ほかにはよろしいか。

それでは、お認めいただいたということで次に入らせていただく。

全員了承

3 報告事項

(1) 日本遺産シンポジウムと花火について(生涯学習・文化財課)

資料2により竜野生涯学習・文化財課長説明(要旨)

資料2をご覧ください。

今回は、いずれも上田市日本遺産推進協議会の事業である。いずれも日本遺産認定の記念として市民の皆さまに今回のテーマであるレイライン及び日本遺産を活用した地域振興について関心をもっていただく機会と考えている。

1 日本遺産シンポジウム

こちらについては、12月13日(日)サントミュージゼ大ホールにて日本遺産シンポジウムを13時30分から16時まで開催する。その内容は、基調講演として、日本遺産大使であるシェフの三國清三氏の講演、あるいは長野大学の学生さんが研究されている発表、パネルディスカッション等を予定している。入場無料、事前申し込みを不要としているのでぜひお越しいただきたい。

2 日本遺産認定花火の打ち上げ

12月20日(日)18時頃から花火を上げる予定である。この日は、今年の冬至が12月21日(月)であり、この日は生島足島神社の3つの鳥居を太陽が通りながら沈んでいくということであり、約前後1週間ほど同じようにご覧いただけるということだが、その日に合わせて神川地域、塩田地域、別所温泉地域内で時間差をつけて花火を打ち上げる予定となっている。

峯村教育長

ただ今の報告事項についていかがか。

横関委員

サントミュージゼ大ホールで行われるシンポジウムについて、事前申し込みは不要ということだが、コロナ感染対策で参加者の名簿等は作成しないのか。

竜野生涯学習・文化財課長

当日の来場者のところに受付をもうけさせていただき、間隔、配置、あるいはマスクの着用等、十分に呼びかけて徹底させていただく。また、キャパ数を超えた場合の対応についても検討している。

横関委員

受付時の名前を記入しているときに密になることもあるので、できれば事前申し込みで行った方がよいと思うが、くれぐれも安全対策をお願いしたい。また、オンラインやライブ配信はあるのか。

竜野生涯学習・文化財課長

ライブ配信は今のところ聞いていないが、おそらくUCVさん等にきていただいて、こういったものを後日放送と考えている。

横関委員

了承。

峯村教育長

ほかにはいかがか。

全員了承

(2)「コロナ禍を、みんなで共に乗り越えよう！」共同宣言と人権啓発の放映について(報告)
(生涯学習・文化財課)

資料3により竜野生涯学習・文化財課長説明(要旨)

西嶋人権同和教育政策幹が不在となっているので私の方から報告をさせていただく。

資料3をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症に関する心ない差別や偏見、誹謗中傷等による人権侵害に対して、「人権擁護」と「経済の活性化」に向けて市及び関係団体等が共に取り組むため、10月23日に計22団体で共同宣言を行った。こちらについては、資料の裏面に内容を掲載しているのでご覧ください。この差別に対する市民の人権意識の啓発を目的に、上田市、上田市教育委員会及び上田市人権啓発推進委員会が合同で人権啓発動画を作成し、行政チャンネルで放映を開始している。2 人権啓発動画の放映等についての内容として、感謝の気持ちを編(4分) もし私だったら編 やってほしい・やってはいけない3つのこと編(4分・短縮版2分25秒)というようなことで、ぜひご覧ください。

また、皆さんにお配りしているリボンだが、こちらはシトラスリボンといって、コロナ禍で生まれた差別偏見に対して感染された方や医療従事者に対して多大な誤解を解き入れる雰囲気をつくり、思いやりのある暮らしやすい社会を目指そうという取組である。こちらのシトラスリボンは愛媛県からはじまったということで、3つの輪、地域、家庭、職場あるいは学校を象徴し、愛情を思っ取り組んでいこうというメッセージが込められている。

峯村教育長

ただ今の報告について、ご意見のある方はお願いしたい。

森田委員

このような動画は、学校の授業等で放映されているのか。また、先生たちへ情報は伝わっているのか。

竜野生涯学習・文化財課長

教育委員会も周知をする必要はあるので、周知をしていなければ早急に対応したいと思う。

峯村教育長

確認をして、もし周知していなければ大至急お願いしたい。

竜野生涯学習・文化財課長

了承。

北沢委員

リボンについては、今後どのように配布していくのか。

竜野生涯学習・文化財課長

広報では、こちらの運動を広報させていただいているが、人権男女共生課の方でリボンの作り方をお伝えして、一緒に作ることを推奨させていただいている。作る中でそういった取組を一緒に展開していきましょうということで行っている。

北沢委員

もう少し具体的にお聞きしたいが、非常に良い内容である。コロナ禍でもあり、シトラスリボン、小中学校でも1つのアピールになると思う。今後、小中学校で活用していく計画はあるのか。

竜野生涯学習・文化財課長

学校教育課とも相談して取組について検討してまいりたい。

峯村教育長

人権教育係の職員がリボンを作った。こちらのリボンをつくることは難しいようで、バランス具合やリボンの調整等で大量生産はできない状態である。少しずつ作り、校長たちの分は用意したので、明日の校長会で配ろうと考えている。そのほか、共同宣言は、長野県で上田市がはじめて共同宣言を行った。先日、おもてなし武将隊の真田幸村公が宣言文を発表した。そのようなことで盛り上がってきているので大事にしていきたいと考えている。

ほかにはいかがか。

よろしいか。

全員了承

(3)「101周年児童自由画展」について(中央公民館)

資料4により小泉中央公民館長説明(要旨)

昨年、児童自由画展は100周年と題して開催しているが、本年度については、芸術家の山本鼎が上田の地で提唱して全国で広がった「児童自由画教育運動」は、各地で種がまかれ花が咲いている。その活動が盛んになった場所の1つに飯田市竜丘地区があり、1年遅れで100周年ということで飯田市の市立美術館で展示会が行われた。地元の神川地区に山本鼎の会という団体があり、そちらの方と地元の竜丘の顕彰委員会と交流した中で、上田市からの自由画がサンプルとして5点あり現在保存されている。今回里帰りをすることになった。そのことを記念して、大勢の方に観ていただくように再度101周年と題して展示会を行うことになった。期間は令和2年12月8日(火)から12月28日(月)まで、会期中について休館はない。場所は中央公民館1階の展示室である。里帰りした当時の自由画は、その中で大正8年、ちょうど100年前に描かれた絵が2点あり、それと神川小学校に現在残っている児童自由画100点をあわせて展示する。

その他、イベントとして、今週末の11月14(土)から15日(日)まで「児童自由画里帰り展」と題し、神川地区公民館を会場として里帰りする絵5点と当時の児童自由画35点を展示する。この「竜丘自由画保存顕彰委員会」の委員長をお迎えして講演会を開催する。当時全国に先駆けて「児童自由画教育運動」が提唱されたその意義についてぜひ大勢の市民方に再認識いただく良い機会にしたい。

峯村教育長

ご意見ご質問があれば出しいただきたい。

横関委員

公民館についてだが、コロナの感染拡大が急速にはじまっている状態で第3波といわれている。公民館は緊急事態宣言が出なければ公民館を閉めないという状態なのかどのように決まっているのか。講演会などの催し物は、どの程度になったら中止にするのか教えていただきたい。

小泉中央公民館長

公民館の感染予防対策であらためた1つの目安に、県が出している警戒レベルを参考にして対応することとしている。上田市の現在は比較的落ち着いているということで、感染の減少期と位置付けて、こちらはレベル1から2となっている。県が出すレベル3から4というところまでが拡大期と位置付けており、マニュアルについてはレベル4で施設の休館等を検討したいという。レベル3においてのイベント等の実施については検討したいと考えている。週末のイベントについては実施する予定のこと。また、12月8日(火)からの101周年の展示会についてはまだ時間があるので、もしそのような状態になった場合には、当然ホームページやSNSの活用、または掲示等を行って中止の周知を図ってまいりたいと考えている。

横関委員

了承。

峯村教育長

ほかにはいかがか。

全員了承

(4)スポーツ関係市長表敬訪問について(スポーツ推進課) 【説明なし】

資料5

(5)寄付の状況(学校教育課) 【説明なし】

資料6

(6)行事共催等申請状況について(学校教育課 生涯学習・文化財課 スポーツ推進課)

【説明なし】

資料7 - 1 7 - 2 7 - 3

(7)公民館だより(各公民館) 【説明なし】

資料8

峯村教育長

それでは、(4)から(7)までは説明がないが、ご意見ご質問等があればお出しいただきたい。よろしいか。

全員了承

4 その他

峯村教育長

その他で何か連絡等ある方はお願いしたい。よろしいか。
それでは以上をもって、11月の定例会会議を終了する。

全員了承

閉 会

教育委員会会議規則第 2 1 条の規定により署名する。
